

NEWSLETTER

“主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで”（詩篇118：1）

今年の夏のピアノコンサートと聖書セミナーで受けた恵みをお届けします！

わたしはエルサレムとシオンをねたむほど 激しく愛した（ゼカリヤ1：14）。

キャンプで聞いたみことばの中で、このみことばが心に残りました。神様がどんなに深く強く愛してくださっているのかということを、訴えてくることばでした。普段の生活の中においてまだまだ自分が生きていて、神様を無視して生きていたのかを思い知らされ、また同時に、その神様がこんな私に目をとめてくださっていることも知り、心が痛かった。

天幕を広げよ、というみことばを行っていくには、この神様の愛を知らずにはできない。キャンプが終わって子どもたちは学校が始まり、私も家のことや仕事が始まりました。けれど、今までの生活に戻るのではなく、神様の愛とイエス様に感謝を忘れず、神の国、天幕を広げるために用いられていきたいです。H.N

山に登り、木を運んで来て、宮を建てよ。そうすれば、わたしはそれを喜び、わたしの栄光を現そう。主は仰せられる（ハガイ1：8）。

今年も夏のピアノコンサートと聖書セミナーに、参加できたことを感謝します。

毎年のピアノコンサートで純さんのピアノ演奏を聴く時、そこには真剣さが伝わってきて、それほどまでに自分は真剣に生きているだろうかと思われ、生き方を見習います。喜びの表情で体をリズムにあわせて聴いているかが見られ、神様の祝福が会場内に流れ、皆が感動に包まれ感謝が大きいコンサートでした。

聖書セミナーでは自分の生活のことを優先して、外に向かって天幕を広げようとしていなかったことが心に示され、そのことを改め、これからは神様の協力者のひとりとして、自分の置かれた場所から天幕がどんどん広がっていくことを信じ歩んでいきます。K.I

あなたの天幕の場所を広げ、あなたの住まいの幕を惜しみなく張り伸ばし、綱を長くし、鉄のくいを強固にせよ（イザヤ54：2）。



子を産まない不妊の女よ。喜び歌え。産みの苦しみを知らない女よ。喜びの歌声をあげて叫べ。夫に捨てられた女の子どもは、夫のある女の子どもよりも多いからだ（イザヤ54：1）。

教会で主催された、夏のピアノコンサートと聖書キャンプに参加しました。

たくさんの方が来場されていて、純さんのピアノコンサートを間近で聞くことができ、本当に素晴らしい演奏で、とても感動しました。演奏の最後は大きな拍手と共にスタンディングオベーションが起こり、皆さんアンコールを期待されていて、コンサート終了後も、皆さんなかなか帰られていませんでした。ピアノコンサートに参加できたことに感謝します。

今年の夏の聖書セミナーはパサデナ市で2日、残りをPine Springs Ranchキャンプ場で行われました。聖書の学びはもちろん、朝から晩まで寝食、アクティビティを一緒に過ごしました。自分には、教会に行く前は聖書セミナーに参加など考えられなかったことですが、みことばを聞きながら、神様が日々養って下さり、自分では気付かないところまで神様は気にかけて下さっていることがわかり、感謝でした。またキャンプテーマの「天幕を広げよ！」のメッセージから、神様の偉大さや計画があることを知りました。神様に感謝します。H.S



あなたは右と左にふえ広がり、あなたの子孫は、国々を所有し、荒れ果てた町々を人の住む所とするからだ
(イザヤ54:3)。

夏の聖書セミナー初日の前日、教会のミュージックディレクター、浅井純さんのピアノコンサートがありました。
毎回、彼女のコンサートを会場で聴くことができるのは、私にとっては神さまからのプレゼントと受け取っています。その音色そのものの純粋さに心を打たれるからです。

教会員としてこのコンサートに参加できること、としてフライヤーの配布、ポスター貼りなどがあります。
今年はバスター、牧師夫人の指示に従い、音楽関係の場所を中心に、昨年よりも限られた範囲で行いました。そして配られたフライヤーも貼られたポスターの数も昨年よりはるかに少ない数だったのです。
それでも当日は満席となり、立って鑑賞する方もおられました。神さまのなさることの素晴らしさと演奏への感動で、私は心の奥から喜びが溢れていました！コンサートの後も、多くの観衆が余韻に浸るべく、会場ホールにしばらくの間立ち止まっているのを見ました。
この体験を通して、セミナーテーマの「天幕を広げよ！」とは、自分の力で広げるのではなく、神さまの導きに従って自分の役割を果たすとき、神さまご自身が働いてくださることだと受け取りました。

「これは主のなさったことだ。私たちの目には不思議なことである。」
(詩篇118篇23節)

ハレルヤ！主に栄光あれ！J.K

今年のピアノコンサートにて、奉仕に参加させてもらえたこと、神様と教会へ感謝します。演奏を聞きに来た人たちが、純さんのピアノ演奏を通して、喜ばれ、感銘されている姿を見て、神様の大きな栄光を今年も見ました。

今回のコンサートでは、準備が始まってから、神様から与えられた志がありました。昨年よりさらに大勢の人たちがコンサートに運ばれ、純さんのピアノ演奏を通して、感動と喜び、神様の大きな栄光が現わされることでした。神様の願われていることに協力したい、御仕えしたい、という思いがありました。牧師先生、牧師夫人から、「今年はピアノ音楽関係、イベントやコンサートに、ポスター貼りやチラシ配布を強化したらいい」とアドバイスを頂き、有志の奉仕者たちと行いました。今年は例年に比べ、ポスター貼りやチラシ配布を行う奉仕者が減り、少人数の人達でコンサート準備、来場者を集める奉仕を行いました。以前に読んだ説教サマリー「平安があなたがたにあるように」Aに書かれていた「死はもはや、あなたに対して何の力もないということです。」という、ことばが心にあったので、少人数での現状とか、環境に動かされることはありませんでした。最後まで共に働いて下さった、神様と聖霊様の導きと励ましに感謝します。

当日には過去最高の来場者のチケットの申し込みがあり、純さんの演奏を通して何度も書きますが、偉大な神様の栄光が会場内に満ちていました。コンサートが終わった後、思い起こされたみことばがありました。

「小さな群れよ。恐れることはない。あなたがたの父は、喜んであなたがたに御国をお与えになるからです。」(ルカ12章32節)

このみことば通りに、神様が小さい群れを御使いになって、ご自分の大きな計画を起こされ、それを見ることによって、喜びという報酬を与えてくださった。この体験から、家の教会、教会のリバイバル、天幕を広げることも同じ方法で、神様と同じ願い、人が救われることを願い、信仰を持って行う先には、たとえ小さな群れ、1人、2人からでも、神様がご自分の計画を起こされる。栄光を現わして下さいました。

みことばには新しい創造、復活の力があること、イエス様の十字架での死と復活、贖いによって、どんな破壊の中にも「光あれ」と神様が回復、新しい創造を起こされることを信じます。R.L

